



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第279号

2016年8月8日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

会議録改ざん箇所を市長が直接指示

定例部長会議の会議録を9頁から4頁に改ざんして情報開示した問題で、地方自治法百条にもとづく市議会の調査特別委員会は7月29日、関係職員8人の証人喚問の議事概要を公表しました。

証人喚問は21日に非公開で行われました。概要によると職員は「市長が会議録の写しに鉛筆で書いた修正指示メモが、秘書課を通じて総務課に届いた」「修正指示メモが、1行を消したり、2行を消したり、また、1文を囲ってバツ印をつけたものであった」と証言。市長が鉛筆書きのメモで削除を指示した箇所を指して示したとしています。

秋葉市長はこれまで「9頁から4頁の時期に具体的な削除箇所を指示した記憶はない」と証言してきました。職員の証言はこれをくつがえし、市長が会議録改ざんを直接具体的に指示していたことが明らかになりました。



「9頁会議録は下書き」はつじつま合わせのウソ

秋葉市長は9頁会議録を「長いのではないかと」短くするよう職員に指示していますが、それは職員から会議録は下書きという説明を受けたからだという趣旨の証言をしています。「説明したのは誰ですか」との問いには「記憶がない」と名前をあげていません。市長に下書きと説明したことについて概要は「証人全員が記憶にないと証言した」としています。9頁会議録を下書きとした理由について職員は「開示請求者から9頁会議録を持っているとの話を聞かされた。その後、総務企画部において、4頁会議録が正式な文書、9頁会議録はその下書きという理論構成で行くしかないと考えた」と証言しています。つまり9頁会議録が「下書き」というのは、つじつま合わせに考えた虚言だったのです。市長の指示による改ざんとはいえ、法令を遵守すべき役所が事実をねじ曲げて組織ぐるみで条例違反をしたことは深刻であり重大です。

全文筆記に戻し市民の知る権利回復を

会議録改ざんの被害者は開示請求者である市民です。開示請求した9頁会議録は開示請求者に渡されましたが、これで被害救済が決着したわけではありません。

不祥事以降の定例部長会議録は改ざんした要点筆記のままで、それ以前の会議録の3分1程度しかありません。市長や市の幹部は事実と反して以前から要点筆記だったと強弁しています。しかし職員は「市長発言を要点筆記への変更・短縮の指示と受け」とった、会議録は「全文筆記に近い」ものだったと証言しています。職員の証言を無にしてはなりません。

百条委員会は不祥事の究明とともに、会議録を元の全文筆記に戻させるなど、市民の知る権利回復に取り組むことが求められます。